世界の株価は長期間では経済成長に連動
しかし市場に居続けないと成績は大きく悪化

何がいつあがるか、必ずしもあてていていない。世界全体は過去も成長し今後もたぶん成長する。世界全体の株価も長期間上昇。その流れに乗ればいい。しかし37年間のうち上昇率の高かったわずか9つの月（全期間の2％）にもし投資していなければ、もうけは半分弱。市場に居続ける
米景気の戦後の拡大期間は平均5年弱。今回はすでに9年目。数年のうちに景気後退・株価クラッシュがあるかも。しかし初期の株価下落は、つみたて投資なら逆にプラス。安く買えるチャンスだ！
過去10年で日本株値上がり率上位の投信（投信分類の大型ブレンド型で資産50億円以上）の保有者の平均損益（インベスター・リターン）は、投信の成績（トータルリターン）を大きく下回る。うまく売買しようとして、高く買い、安く売っている。つみたて比率の高い投信では、逆に平均損益が投信の成績を上回った
投信は株価の高値圏に多く買われ、本来買うべきである安値圏では買われないか売られる。積み立てならこうした間違いを起こさない